

【平成25年度「みやぎ農業見聞のつどい・夏」実施報告】 ～新規就農を目指し12名が、先輩農業者を訪問



去る、6月29日（土）、当公社と宮城県、県農業会議の共催による「みやぎ農業見聞のつどい・夏」を開催しました。

新規就農を希望する12名が参加し、先輩農業者のほ場を訪れ、熱心に視察研修や意見交換を行いました。

視察先では、個々の農業経営方針や栽培技術、販売方法等専門的なお話しから、就農に至るまでの経験談をもとに、今後の営農に向けたアドバイスを受けました。

開催状況の一部を紹介しますので、是非、あなたの就農計画や農業スタイル検討の参考にして下さい。

視察園概要参照→[ここ](#)



◎視察園①
くまっこ農園 渡辺重貴さん

- ・遊休農地を活用。柳や蔓などが茂り、開墾からスタート。
- ・就農1年目猿の被害で全滅！→電柵設置
- ・米ぬか撒布→熊出現！
- ・宅配会員募集のため、ちらし6000枚配付も注文なし。
→ホームページ開設。徐々に顧客獲得。
- ・有機野菜専門店など、飛び込み営業。
- ・通勤農業であるが、地域のつきあいは大切に。
→あいさつと世間話。畑は荒らさない。
- ・田舎暮らし（スローライフ）では、食べて行けない！
サラリーマンの2倍働く気持ちで。





◎視察園②

はゆな花壇 及川俊郎氏（中央）

視察園概要参照→[ここ](#)

- ・施設花きとしては、県内最小の施設面積と自負。最大限に利用し、回転数と付加価値で収益アップ。
- ・売って終わりではなく、花と緑の提案活動を行っている。
- ・市場出荷から「直販」へ転向。
- ・直売所では、切り花も目玉。家庭ユースは短くて良いので、プランター栽培で行っている。空きスペースの活用。
- ・就農 20 年目。積極的に地域興し活動を行っている。
→大豆プロジェクトや秋保フラワーフェスティバルなど。
- ・宮城県鉢物生産組合長も務める。



◎視察園③

野菜摘み取り体験 小松農園
小松 明巳さん



視察園概要参照→[ここ](#)

- ・摘み取りは、7月中旬～8月上旬まで。
一袋 500 円で詰め放題方式。近所の主婦や子供会等のお客様が多く、クチコミで広がった。
- ・産直会「おんないん会」20～80 代の会員 24 名。
の3代目会長を務める。
- ・会員の約束事は、会員同士の値段競争はしない。
- ・インショップ運営、1 年間休みなし。同じ野菜でも、品種を変えてバラエティを出すよう工夫。
(例：トマトは、2 品種。2 年おきに品種を変えて)
- ・管理は、ほぼ 1 人で対応のため、省力出来るように、仕立て方を工夫している。

また、無理に収穫期を延ばさず、次の品目に切り替え旬の品目を出荷するようにしている。



参加者の皆さんは、「休みはありませんが・・・」と言いながらも、生き生きと農業の話をされる先輩者の皆さんに、大いに刺激を受けたようでした。今回の「つどい」が自分の経営計画のヒントになり、就農への道の一助となることを願っています。

10 月下旬頃に、再度「みやぎ見聞のつどい・秋」を開催する予定です。新規就農希望者の皆様のご参加をお待ちしています。

担い手育成班 ：岩渕

TEL：022-275-9192